

医・科学サポートの取り組み



岩手のスポーツを支える「いわてアスレティックトレーナー (IAT)」

岩手県教育委員会スポーツ健康課スポーツ健康科学担当 上席スポーツ医・科学専門員 高橋 一 男

ラグビーワールドカップイングランド大会では、過去のワールドカップ大会でほとんど勝ち星はなかった日本が、それが過去優勝2回を誇る世界ランキング3位の南アフリカに劇的な勝利を治め、ワールドカップ初の3勝をあげました。南アフリカの強豪国からの勝利という「大金星」。天地がひっくり返るくらい凄い衝撃を与え、日本のラグビーは一躍世界の注目的になりました。

今年、和歌山県で開催された「紀の国わかやま国体」において岩手県は天皇杯16位となり、昨年の長崎国体37位から大躍進を遂げました。来年のいわて国体を控え、大きな弾みとなり選手の士気も一段と高まってきました。

「やればできる!」「勝てる!」それらが岩手のスポーツの今年を象徴しているように感じます。今まで心の片隅にあった「先入観」…。長年の月日の積み重ねがますます大きく膨れ上がり、大きな「壁」となって塞いでいました。しかし、「勝利」が起爆剤となり、自信が確信に変わり強い相手をものともせず果敢に立ち向かいさらに勝利を手中にしてきました。まさに「勝利は良薬」となり、先入観のリミッターを外し、勝利への加速を手助けしているかのように思います。来年1月から、いよいよスケート国体を皮切りに、岩手のスポーツを全国にアピールする大きなスタートダッシュに一段と加速をつけていただきたいと

願います。

岩手のスポーツは数多くの方々に支えられて活動を行っています。その数あるサポートの中で医・科学分野における選手に密着したサポート「いわてアスレティックトレーナー (IAT)」がいます。彼らはいわて国体に向けて養成され、チームの一員として献身的な活動を行っています。殆どの方々は「医療従事者」ということで、知識そして人間的にも豊かであり、ここ一番での大きな力を発揮してくれます。彼らの心のこもった活動がいわて国体の成功を左右する大きなカギとなり、それが岩手の「隠し玉」とも言うべき存在であるような気がしてなりません。

指導者と選手の目指す方向性がしっかりとかみ合い一致することで成果が上がります。それにIATのサポートを上乘せることで「相乗効果」が生まれてきます。それは想像をはるかに超えた驚異的な力を発揮するはずで、まさに軌跡を呼び起こす「原動力」となります。

彼らの知識と技術は岩手のスポーツにおける大きな財産です。その専門的知識をさらに引き出してあげることも競技団体の大きな役目の一つになるかと思えます。チームの「一体感」を目指し、目標に向かってIATを大いに利用していただきたいと願います。